

〈資 料〉

浄化槽放流水の水質データの分布状況を比較するための新しい図表現手法

天川 哲也

社団法人 三重県水質保全協会

概 要

浄化槽放流水の水質データの分布状況から、型式別等の処理性能の違いを検出することを目的とした、新しい図表現の手法を提案する。縦軸には対象とする水質項目のデータ値を表示し、横軸には水質データの値が良い試料順に並べて、横軸を順位のパーセンテージで表す図を作成する。この手法によって、図中には解析対象浄化槽の水質データの分布曲線が示され、曲線の形と曲線の上下の位置関係から処理性能の優劣を比較する。また、この図表現手法は、試料データの分布の均衡性が表されることによって、処理性能の安定性の優劣を示唆する資料として扱うことができると考える。本文で提案する手法によって、型式間や処理方式間の水質データの分布状況を比較した結果、違いが認められた場合には、浄化槽法定検査等による外観検査の情報や浄化槽の構造や機能の違いの情報から、比較結果に違いが生じた原因を求めていくことが適当であると考ええる。

キーワード

水質データの分布曲線, 浄化槽の処理性能の安定性, BOD